

## II-1. 静岡県最初の鉄道、蛇松線跡を利用した花と緑の蛇松緑道を歩くコース（約2時間）

明治19年（1886年）12月1日沼津機関庫（後に機関区）が設置され、国府津-沼津間の東海道本線の工事拠点となり、陸上運搬のない時代であり、建設資材は、横浜から海路汽船で内浦湾まで運び、ここで、喫水の浅い平底のはしけに寄せ換えて狩野川河口を遡り、蛇松（港大橋付近）まで運び、栈橋を使って陸揚げ、翌明治20年（1887年）3月27日沼津機関区までの線路ができ、静岡県内最初の鉄道の誕生。明治22年2月1日に国府津—静岡開通しました。

昭和21年（1946年）11月2日沼津港開港祝賀記念と臨海線開通式が行われた。臨海線はお祭り広場から分岐して、港まで新たに作られた路線のことです。翌年、蛇松線は、蛇松駅から内港東側に移転し、沼津港線に改称しました。

昭和49年（1974年）8月31日臨時列車が運行され廃止となりました。88年間運搬専用鉄道一筋でした。

昭和51年（1976年）市に払い下げられ、遊歩道「蛇松緑道」として1.8km整備されました。東海道本線より古い蛇松線（後に沼津港線）跡を散策するコースです。

